

オリンピック・パラリンピック こども新聞

第3号

平成30年(2018)
 3/31

2面

・馬術競技
 ・視覚障害者柔道体験授業



3面

タグラグビー教室



平昌オリンピック・パラリンピックが開催!

2月9日から25日まで、平昌(ピョンチャン)で開催(かいさい)された第23回オリンピック冬季競技大会が終了しました。文京区では、シビックセンター地下2階でパブリックビューイングを実施(じっし)し、トヨタ自動車(文京区後楽)の協力で、所属(しよぞく)選手の写真や競技紹介のパネルも設置(せっち)しました。また、3月9日からは平昌パラリンピックが開催(かい)され、3月10日からは平昌パラリンピックが開幕(かい)しました。こども記者(きしゃ)から、オリンピック終了時(し)に寄せられた記事(きじ)を紹介(しょうかい)します!

も自分を高めることを目標(めく)として頑張(がんば)って欲しいです。
 (小5/RN記者)

バシュートがおもしろくすごかったです。理由は3人みんながそろって、チームで協力(きょうりょく)していたからです。他にもスキージャンプやスピードスケートが心に残(のこ)りました。たくさんメダルをとり、失敗(しがい)が少(すく)なかったからです。パラリンピックの競技(けいぎ)でもたくさんメダルをとってほしいです。
 (小4/RM記者)

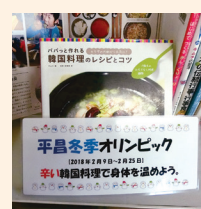
僕は、平昌オリンピックを見(み)て、オリンピックやパラリンピックは、世界の選手(せんしゅ)と競(き)い合(あ)い、自分を高める大会(たいかい)だと思います。なぜかという、1位(いちがい)の人(ひと)は、次(つぎ)に1位(いちがい)になりたいと思(おも)って、頑張(がんば)ることが出来る(出来る)し、2位(にがい)以下(以下)の人(ひと)も、次(つぎ)こそ1位(いちがい)を取(と)りたいと思(おも)って頑張(がんば)るからで、僕はパラリンピックの選手(せんしゅ)です。
 (小4/RM記者)

今回のピョンチャンオリンピックで、日本代表女子アイスホッケーチームはオリンピック初勝利(しつり)もありません。
 (小4/RS記者)

オリンピックでうれしかったことは、今回の目標(めく)であるメダル数(かず)2個(に)以上の金メダル(きん)を含む(含む)9個(に)以上(じゅう)を獲(と)る(と)ることです。今度(こんど)のパラリンピックでも、日本の選手(せんしゅ)が活躍(かつやく)して、1つ(ひとつ)でも多く(おほく)メダル(めだる)を獲(と)ってほしいと思(おも)います。
 (小4/RS記者)

2月9日は平昌オリンピック開幕(かい)の日(ひ)で、給食(じき)は韓国(かんこく)のメニュー(メニュー)でした。具(ぐ)だくさんで色鮮(いろあざやか)やかなビビンバ、豆腐(とうふ)とわかめのスープの相性(さけい)がよいスープがとてもおいしかったです。オリンピックではどの国の選手(せんしゅ)もみな頑張(がんば)っています。
 (小4/YM記者)

学校の日に色々なメニュー(メニュー)の給食(じき)が、ヤンニョムチキン、混ぜ込み(まぜこみ)ピビンバ、豆腐(とうふ)とわかめのスープでした。ヤンニョムチキンは、唐揚(からあげ)げに甘いソース(ソース)が絡(か)り合(あ)り合(あ)って、混ぜ込み(まぜこみ)ピビンバは、ナムル(ナムル)がご飯(ごは)んに混(ま)ざっておいしくて、たくさんおかわり(かわり)しました。スープは、わかめと豆腐(とうふ)の食感(じかん)が合(あ)っていました。平昌(ピョンチャン)でもこんなおいしい給食(じき)を食(た)べて、みんな活躍(かつやく)して欲しいです。
 (小4/KA記者)



オリンピックについて学ぶ

私は、前から韓国料理(かんこく)が好き(す)かったので、韓国料理(かんこく)が出る(で)ると知り(し)て、すごく楽しみ(楽しみ)でした。そして食(た)べてみると、いつもの給食(じき)より美味(うまい)しくて、感じ(かんじ)ました。特に野菜(やさい)の味(あじ)付け(つけ)が美味(うまい)しくて、また食(た)べたいと思(おも)いました。そして、2月9日(にん)から始(は)まるオリンピック(オリンピック)に出(で)る選手(せんしゅ)を応援(えんげい)したいと思(おも)いました。
 (小4/RH記者)

わたしが通(と)っている誠(まこと)小(こ)学(がく)校(こう)は、ブルコギ(ブルコギ)や大豆(とうふ)やし(し)のナムル(ナムル)は、おみかん(みかん)がたっぷり(たっぷり)入(い)り合(あ)って、ブルコギ(ブルコギ)は、かん国(かんこく)のプルコギ(プルコギ)というおみかん(みかん)を入(い)れた牛(ぎゅう)の焼肉(やきにく)です。ほか(ほか)にもかん国(かんこく)は、たくさん(たくさん)の種類の(しゅるい)おいしい料理(りょうり)がある(あ)るので、調べて(しらべて)みて(みて)ほしいです。
 (小4/KK記者)

給食(じき)のこん立(た)て表(ひょう)に、外国(がいこく)の聞(き)いたこと(こと)のないメニュー(メニュー)が書(か)かれていて、ワクワク(ワクワク)しました。2月(にん)の給食(じき)献立表(けんたいひょう)で、応援(えんげい)給食(じき)が出(で)ると知(し)った時(とき)は、とても興(き)味(み)を持(も)ちました。韓国(かんこく)に詳(くわ)しいク(ク)ラ(ラ)スメ(スメ)ート(ート)に聞(き)いて、メニュー(メニュー)内(うち)容(よう)が少(すく)し分(ぶん)か(か)ら、ますます(ますます)喜(よろこ)びに成(な)りました。特にヤンニョムチキン(ヤンニョムチキン)が想像(さくご)以上に美味(うまい)しくて、韓国料理(かんこく)が好(す)きになり(な)りました。もっと韓国(かんこく)の事(こと)を知(し)って、平昌(ピョンチャン)冬季(とうふ)大会(たいかい)を楽(たの)しみたいと思(おも)いました。
 (小4/KS記者)



ピョンチャン大会の応援給食



本郷小学校の韓国紹介

今日のメニュー(メニュー)は、①釜(かま)焼(や)きビビンバ(ビビンバ)、②参(ま)鶏(と)湯(とう)③参(ま)鶏(と)湯(とう)が、食(た)べてみる(みる)と、驚(おどろ)かして、びっくり(びっくり)しました。もっといろいろな料理(りょうり)も食(た)べてみたい(みたい)です。
 (小4/RO記者)

フィギュアスケート
 宇野昌磨(しのぶ)選手(せんしゅ)
 (しのぶ)トヨタ自動車(トヨタ自動車)



ショートトラック
 横山大希(よこやま ひろき)選手(せんしゅ)
 (よこやま ひろき)トヨタ自動車(トヨタ自動車)



ショートトラック
 菊池純礼(きくち じゅんれい)選手(せんしゅ)
 (きくち じゅんれい)トヨタ自動車(トヨタ自動車)



ショートトラック
 伊藤亜由子(いとう あゆこ)選手(せんしゅ)
 (いとう あゆこ)トヨタ自動車(トヨタ自動車)



おいしかった! 応援給食

先生(せんせい)からピョンチャンのこと(こと)をきく



オリンピックに出られるのは人と馬だけ



まぢかで馬の走りを見ました

1月7日に、ふちゅうにある東京けいば場のじょうばセンターに行きました。正門を入り、ストリートをめぐる、前ぼつに大きいビルが見えてきます。左に進むと、右がわにメインのけいば場が見えてきます。もつと前に進むときゅうじやなどがあつて、家をくつれの方には公園、ゆづみなどがあつて小さい子がいても安心できます。さらに、馬とのふれあい体験や馬車に乗る体験もできるのじょうば場があります。(小4/S.S記者)

馬術(ばじゆつ)きょうぎ
オリンピックに出られるのは人と馬だけです。
オリンピックの馬術のきょうぎでは、障害(しょうがい)馬術、馬場(ばば)馬術、総合馬術とパラ馬術があります。障害馬術とは決められた障害を順番におとさずとぶ、馬場馬術はフィギュアスケートのように歩きながらのきょうぎです。総合馬術は池の中などをとおる長いコースを走ります。オリンピックでも64組出場したが16組はコースをクリアできなかったそうです。



なみあし(小4/S.S記者撮影)

パラ馬術は障害がある人が馬術を行うことです。このように馬術のきょうぎにも色々あることがわかりました。(小4/T.O記者)

東京競馬場の乗馬センター
東京けい馬場は、1年間に土日で40回くらい、けい馬を開さいします。コース



馬術競技や馬について教えてくださったJRAの吉田年伸(よしだとしのぶ)さん

はしばのコース、砂のコース、しょう書コースの3つのコースがあります。(小4/R.M記者)

乗馬センターで、ばんに公開しているショーを見ました。しゃくいんの人が馬に乗り、お客さんの近くを小走りしたりしました。ちゅうまで、じゅんちゅうに走っていて足も高く上って言ってもよく聞いて、終わったらすすなびもして、なついている人しかできなないことだ、という事です。けれどあきたようにやめてしましました。自由になりたいのは自分たちと同じだといことがわかりました。(小4/K.K記者)

乗馬センターで、ばんに公開しているショーを見ました。しゃくいんの人が馬に乗り、お客さんの近くを小走りしたりしました。ちゅうまで、じゅんちゅうに走っていて足も高く上って言ってもよく聞いて、終わったらすすなびもして、なついている人しかできなないことだ、という事です。けれどあきたようにやめてしましました。自由になりたいのは自分たちと同じだといことがわかりました。(小4/K.K記者)

「まさに」馬感
今回は乗馬体験でサラブレッドに乗りました。サラブレッドは軽種(けいしゆ)の二つで、軽い方ですが500kg程あるそうです。実際に乗ってみても力がありません。まさに「馬感」を感じました。

体温は人間より1.5℃ほど高いため、カイロのようにあたかかったです。毛もよく生えている時よりはあたたかく感じないだろうと思えました。(小6/S.I記者)

体温は人間より1.5℃ほど高いため、カイロのようにあたかかったです。毛もよく生えている時よりはあたたかく感じないだろうと思えました。(小6/S.I記者)

小学校で視覚障害者柔道体験授業

明化(めいか)小学校
1月26日、柔道の授業に、視覚障がい者柔道の廣瀬誠(ひろせまこと)選手が来てくれました。廣瀬選手は60キロ級の選手で、前回のリオパラリンピックでは銀メダルをとりました。リオパラリンピックの後、引退して、今は愛知県で盲学校の先生をしています。



廣瀬誠(ひろせまこと)選手

していることを友だちがどのような顔で聞いているのが分からなくて不安だったそうです。
リオでは、人が優しくして「できることはあるかな」と聞いてくれたことがうれしかったそうです。みんなにも声をかけてもらっていたと言っていました。視覚障がい者になってよかったことは、ご飯が食べられるとか、手が動くとか、当たり前のことを「ありがたい」と感じることで、みんなへのメッセージが3つありました。まず、何に対しても感謝の気持ちを持つこと、

ました。視覚障害を認めたくなかった半谷選手ですが、今は視覚障害であるからこそこの舞台に立っている、と思いを委ね、今も練習をがんばっています。
2017年にあったトルコの大会で初の金メダルを取りました。夢はTOKYO2020でパラリンピック最初の金メダルを取ることと強く語ってくれました。視覚障害者柔道の決勝戦はパラリンピック最初の決勝戦です。



銀メダリストから一本!

次に、やらないうで後悔するのではなくチャレンジすること、最後に、好きなことを見つけたら努力して、願いがかなわなくても、やっていける、かたと思つて必ずある、ということ。私もこれくらいいろいろなことをチャレンジしていきたいです。(小4/M.O記者)

講道館(こうどうかん)でも試合があるので、時間があるならば応援に来てほしいと言っていました。パラリンピックは、人気が



半谷静香(はんがいしずか)選手





**なるほど!!
ウマのあれこれ**

馬の種類

- 重種(じゅうしゅ)：体が大きく、馬車をひく力もち。体重が800kg〜1000kgもある。
- 軽種：競走馬で体重は400kg〜500kgある。
- 中間種(ちゅうかんしゅ)：重種と軽種の間で馬術によく出る。
- ポニー：147cm以下の馬がポニーになる。20kgの馬もいる。普通は100kg〜150kg。

(乗馬の感想)いつもの高さより高みから景色が見え、馬の足音がよく聞え、よくゆれた。
 (小6/K・A記者)

馬のからだ

つめは、1ヶ月1cmのびます。目は横についており真後ろ以外の360度見えます。体おんは37.5〜38℃です。茶は尻毛(かけ)、白はあし毛といひます。えさは、えん麦、アマニ油、ハイキューブであります。(小5/Y・A記者)



うま(小4/R・H記者撮影)



馬のしんぞうをさがす(小4/R・H記者撮影)



馬に歯を見せてもらう(小4/S・K記者撮影)

ひじょうに蹄(てい)が硬(かた)くて、こまごまのクツのようなものをつけます。また、つめがかわかす、われないうにするために、油をぬります。ウマの歯は前に12本、4つの犬歯と奥歯24本で計40本、メスはメインズ4本です。ウマの視野は、360度です。夜も目ははっきりと見れるそうです。心ぞうを打つのは一分に40〜50と言っていました。心ぞうの場所は、左の首のねもとで足のつけねにあり、人の頭ぐらいの大きさです。(小4/S・K記者)



こども記者たちにけいかいしてる??
 (小4/S・K記者撮影)



ウマは気持ちをどうやってあらわすの??

ウマが目をたててものをじっとみつめているときは、見慣れないものやにおいがするきげいかいしている事をあらわしている。耳をさし出して、きいているときは、攻撃的なときです。ほっとした表情になるまで近づけば、おめです。攻撃されると、小さいポニーなどでも、大人でもかかないません。ウマは言葉(ことば)を話(か)さず、耳をさして、うしろにふせたりなどして、こわい気持ちをあらわしてたりするのです。
 (小5/M・O記者)

馬の部屋

馬には1頭1頭に1つ部屋があって、その部屋は人がだいたい20人入れるぐらいの大きさで、床にはわらがしいてあって、馬がねてもいたくないようになつています。かべにはこうしがあつて、1人であるかんじになつてさびしくならないようになつています。(小4/K・A記者)



馬にはいろいろな性格や特ちょうがあります。馬は耳がぐるぐる回ります。その中でも、後ろにむいている時はきげんが悪い時です。また、鼻をヒクヒクさせる時がありますが、それは不安な時にするそうです。馬はあくびもしますが、あくびをふいたりヨーンヨーンと言つて安心するそうです。(小5/H・N記者)

えさをあげました

ポニーにりんじんをあげました。あげるときに、どんと下に下にかけていくと、かまれるよ、かまれるよ、びびのほねがのれるよ、と言われると、口をぱんと手をあててやたほうがいいと言われまして。ラッキーとおねばというポニーがどうして、みんなでりんじんをあげました。楽しい1日でした!
 (小4/M・N記者)



馬のえさ(小4/K・A記者撮影)

「ラグビー」を体験取材しました!



親子ラグビー教室

2月4日、小石川運動場で親子ラグビー教室をした。ラグビーワールドカップは、サッカーといひで4年に1度、前は2015年で、次は2019年にある。会場はあじのもとスタジアムや、決勝は横浜にある。さんのスタジアムでやるラグビーは15人対15人で、合計30人の中での一番人数の多い団体競技だといひられています。(小4/R・M記者)

きん肉もすごかった

NECにはラグビーチームのほかに女子バレーボールやフリスビーがしょくしているしょうぎチームがあつて、NECのラグビーチームの練習場は千葉県我孫子(あびこ)市にありますが、またNECのスポーツチームは練習の時は社員として働いています。だけし選手の中には日本代表になっている選手もいて、きん肉もすごかったです。(小4/H・A記者)

NECのラグビーチームグリーンロケットツにやるラグビー教室のきかくを計画・実行した、荒本隆善(あらいもとたかよし)さんに取材をしました。



取材のつもりが練習に...

(高3/K・H編集サポーター撮影)

まず、話(かた)っていました。(小4/K・S記者)

ラグビーの見かた

ラグビーは簡単に言つと陣地(じんち)「取り」のよんだ、荒本(あらいもと)さんはおっしゃいます。ラグビーのルールは複雑(くわんざん)なので、注目する選手を1人決めて試合を見ると、ラグビーを初めて見る人でも楽しむことができるそうです。(高3/K・H編集サポーター)

岡村(おかむら)選手から基本を学びました

岡村(おかむら)選手は、おなかに力をいれる体幹(たいかん)たいかん、ラグビーキック(キック)キックには必要(ひつやく)な本を教(おし)え、いたたまりました。記者の全員が楽しかったです。たいてい、いました。(小4/M・O記者)



メモをとりながら選手を取材

